

富津市社会教育委員会議会議録

1 会議の名称	平成25年度第2回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成25年2月19日 午後2時00分～午後3時52分
3 開催場所	富津市役所502会議室
4 審議等事項	(1) 富津市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について (2) 第48回君津地方社会教育振興大会について等報告
5 出席者名	(委員) 庄司智子、大河原猛、森田健一、三浦博和、大野泰代、宮内和男、関谷康男、小泉清治、平山悟、高橋栄二、杉田玲子、森千枝子、三富和彦 (事務局) 渡辺教育長、古宮教育部長、藤江参事兼生涯学習課長、平野生涯学習課主幹、当真社会教育係長、知念主事、金子非常勤一般職、岩波社会教育指導員、市川一成社会教育指導員、仲野いく子家庭教育指導員
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当(理由)
8 傍聴人数	0 人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成25年度第2回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
(事務局) 藤江課長	(本日の会議が、委員定数15名のうち、出席委員13名、欠席委員2名のため、会議が成立することを説明。) 平成25年度第2回富津市社会教育委員会議の開会を宣言。)
(議長) 小泉委員長	(平山悟委員が第48回千葉県社会教育振興大会において平成25年度千葉県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞されたことを報告。)
(議長) 小泉委員長	(表彰状を平山委員に授与する)
平山委員	(受賞について挨拶)
(委員長) 小泉委員長	(小泉委員長挨拶)
(事務局) 渡辺教育長	(教育長挨拶)
(事務局) 藤江課長	(会議の公開についての説明) 議題に入る前に、会議録署名人の選出について協議願いたい。これより議事の進行は小泉委員長にお願いしたい。
(議長) 小泉委員長	議題に入る前に、会議録署名人についてだが、私の指名でよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
(議長) 小泉委員長	それでは、会議録署名人は、私と宮内和男委員でよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>会議録署名人は私と宮内和男委員とさせていただきます。 会議次第の 4 議題に入ります。議題 (1) 富津市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 當眞係長</p>	<p>(資料：議題 (1) 富津市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定及び社会教育委員の役割について説明)</p> <p>地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律 (平成 25 年法律第 44 号) 第 15 条により社会教育法が一部改正され、社会教育委員の委嘱の基準が条例に委任されたこと等に伴い条例の一部が改正され、平成 26 年 4 月 1 日より施行するものである。</p> <p>社会教育基本法の改正に伴い、改めて社会教育委員の役割について確認したいと思います。社会教育委員は非常勤特別職 (非常勤の地方公務員) です。社会教育委員の仕事としましては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会教育に関して助言をすること (教育委員会の審議会等で意見を表明するなど) ② 青少年教育に関して指導をすること ③ 社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合に意見を述べること <p>以上主に 3 つの事柄についてを職務としております。</p> <p>(補足説明：富津市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の定義について確認 (社会教育法第 2 条) ・社会教育委員の構成についての確認 ・今後の条例改正のスケジュールについて ；教育委員会議を経て 3 月議会で条例の改正を提出するものである。
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>説明ありがとうございました。 委員の皆さんから何か質問等ないでしょうか。</p>

<p>(事務局) 藤江課長</p>	<p>条例の改正について補足説明をさせていただきます。</p> <p>(説明：社会教育委員の任期については変わるものではなく今現在の社会教育委員については引き続き委員をお願いする旨と資料の「議案第18号」は市議会の提出資料である旨の説明。)</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から説明がありました質問等はないでしょうか。</p> <p>他に質問等ないので議題(1)富津市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定については、事務局説明のとおり改正手続きを進めていただくこととします。議題は終わりました。</p> <p>次に報告の(1)第48回君津地方社会教育振興大会について、高橋委員から報告願います。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>第48回君津地方社会教育推進大会について報告いたします。</p> <p>7月13日土曜日、第48回君津地方社会教育推進大会が、新日鐵住金株式会社君津製鐵所コミュニケーションホールにて開催されました。</p> <p>小泉委員長をはじめ12名の委員と生涯学習課職員3名が参加しました。</p> <p>表彰状の贈呈では、富津市からは、個人の部で公民館運営審議会委員であります池原勇氏、大野佳志子氏、齋藤勇氏の3名が公民館活動の振興、社会教育への功績が認められ表彰状が授与されました。</p> <p>また、本大会に共催をしている新日本製鐵住金株式会社君津製鐵所が、社会貢献賞として制定しているクローバー賞の表彰が行われ5団体が受賞しました。</p> <p>式典終了後の記念講演では、秋津コミュニティ 顧問 岸裕二氏を講師に招き、「学校を拠点とした元気コミュニティづくり」と題した講演が行われました。</p> <p>講演では、習志野市立秋津小学校での実践から、学校と地域社会の融合の発想を生かした3つの秋津実践として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「授業や行事を住民と協働」 ②「開放施設を住民が運営しての生涯学習」

③「子縁で人と人、学校と地域をつなぐ」

との内容の講演でした。

記念講演終了後、大会決議文が参加者全員賛成のもと採択し、閉会となりました。

今年度は、木更津市社会教育委員が中心に大会を開催し、319名の参加者で、盛大に開催されました。富津市からは61名の参加でした。

平成26年度は、袖ヶ浦市が当番市となりますので、委員のご協力をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

(議長)

小泉委員長

はい、ありがとうございました。

高橋委員から君津地方社会教育推進大会についての様子をうかがったのですが、何か御質問はございますか。

特に質問等はないようですので、次に、報告の(2)平成25年度君津地方社会教育委員連絡協議会移動研修会について、私から報告いたします。

10月23日 水曜日 平成25年度君津地方社会教育委員連絡協議会移動研修会を君津市が当番市で開催し、館山市指定史跡赤山地下壕跡見学、その後「渚の駅」たてやま、にてNPO法人安房文化遺産フォーラムから活動についてのお話を聞き、午後には館山市指定文化財を見学し視察研修してまいりました。

研修の参加者は君津地方4市で総勢25名、富津市からは、三富副委員長、宮内委員、杉田委員と私の4名と事務局の藤江課長、當眞係長の6名が参加しました。

はじめに、赤山地下壕跡の見学ですが地元NPO法人安房文化遺産フォーラム金久さんの案内により見学いたしました。

地下壕跡は合計した長さが1.6kmと全国的にみても大きな壕で館山の戦争遺跡の一つであり年間1万人が訪れているそうです。

赤山地下壕跡に関する資料が、ほとんどないため、説明した金久さんをはじめとする安房文化遺産フォーラムの人たちは、壕の建設にかかわった人や防衛省などの関係者から聞き取りを行って、一つ

ひとつ資料を積み重ねていき市の史跡となったとのことでした。

館山には館山海軍航空隊や海軍砲術学校などがあり、アメリカ軍の空襲が激しくなった太平洋戦争の終わりの頃には、館山海軍航空隊の防空壕として使われていたとのこと。壕内にはその際使用した発電所跡などが残っており、電信室が置かれていたとの証言も得ています。

また赤山地下壕跡は、凝灰岩質の砂岩を掘りぬいて作られているが、壕の壁面には、はっきりと地層を観察することができ、歴史学習や平和学習とともに、理科の学習にも役立つ場所であります。

館山市「渚の駅」たてやま

(旧県立安房博物館を館山市が譲り受け、渚の博物館(館山博物館分館)および関連施設として渚の駅として平成24年3月オープンした施設である。)

「安房地域の魅力にせまる～安房の地域づくりとNPO法人安房文化遺産フォーラムの活動について～」

NPO法人安房文化遺産フォーラム 池田恵美子事務局長

安房地域にある歴史、文化遺産の保存と活用を通じて、「平和、交流、教生」の文化を学びながら、多岐にわたる地域づくりの活動を行っている団体であります。先に見学した赤山地下壕跡をはじめとする「戦争遺跡と平和学習」、「八犬伝のふるさと里見のまち」、「太平洋アジアとの交流文化」、「安房ゆかりの画家文人」といった地域に根差した歴史、文化遺産を安房国まるごと博物館として活用しています。

午後には、館山市布良にある布良崎神社見学「海の幸」のデッサンのモデルとなったであろう夏祭りについての説明を受けました。

館山市布良にある、青木繁が逗留し「海の幸」(洋画でわが国最初の重要文化財)の制作にかかわった、小谷家住宅(館山市指定文化財)を見学しました。小谷家住宅は、傷みが激しく修理のために地元館山市富崎地区コミュニティ委員会とNPO法人安房文化遺産フォーラムの呼びかけにより全国の著名な画家のみなさんの力により募金活動を進めています。

今回お話を伺ったNPO法人安房文化遺産フォーラムは、代表である愛沢さんの稲村城跡の保存運動から活動が始まったとのこと

	<p>でした。地域の人たちが、自分たちが住んでいる地域の歴史を見直すことにより、地域に愛着をもてるような活動を展開しています。まちづくりは人づくりにあり、人づくりは生涯学習がその一端を担うものであることを改めて痛感した視察となりました。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>以上で、君津地方社会教育委員連絡協議会移動研修会についての報告を終わります。委員の皆さんから御質問等ございますか。 御質問等はないようですので、次の報告(3) 富津市民文化祭2013について、宮内委員から報告願います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>富津市民文化祭2013は、11月1日(金)から11月4日(月)までの4日間、富津公民館・中央公民館・市民会館・総合社会体育館の4会場で開催されました。 ポスターにつきましては、市内小中学校に募集したところ、204点の応募がありました。 その中から天羽中学校2年森田若花菜さんの作品が最優秀作品としてポスターに採用されました。 また、メインテーマは、市内小中学校および一般から募集をしたところ389点の募集があり、その中から最優秀作品として、天羽中学校3年金木夏美さんの「夢・笑顔いっぱい 輝け 僕らの文化祭」が採用されました。 文化祭全体の出演・出展者数は、4,123人、展示部門作品数は、3,082点、芸能部門・催し部門の曲数は275曲、子どもまつり部門の種目52種目で、日ごろの活動成果による作品または芸能発表等、大変すばらしい内容でした。</p> <p>(参観した市民の感想等の紹介)</p> <p>参観者数に関しては14,608人で、昨年度より410人と若干の減少となりました。 以上で、富津市民文化祭2013についての報告を終わります。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>宮内委員からの報告は終わりました。 委員の皆様から文化祭で感じたことはないでしょうか。</p>

富津市民文化祭2013について、御意見等はないようですので、次の報告（４）第48回社会教育振興大会について、三富副委員長から報告願います。

三富副委員長

11月23日金曜日、第48回千葉県社会教育振興大会が千葉県総合教育センター大ホールにおいて開催されました。
小泉委員長と私の2名、事務局から當眞係長が参加しました。

この大会は、私たちのふるさと千葉県の人々が心豊かに、いきいきと生活できるまちづくりのために、社会教育委員並びに社会教育関係者が一堂に会し、各地区の社会教育活動の成果や社会教育の推進について情報交換するとともに、研修を深め、千葉県の社会教育の振興を図ることを目的に、「千葉社教連50周を迎え いま 新たな地域づくりを！」をテーマに開催されました。

千葉県社会教育委員連絡協議会会長の中山清志氏の主催者あいさつ後、千葉県社会教育連絡協議会表彰が執り行われました。

当市社会教育委員であります平山悟氏が個人の部において永年にわたる社会教育振興の功績が認められ受賞いたしました。

式典終了後、事例発表が行われ、葛南地区より市川市教育委員会主幹 高梨治夫氏が「地域人材を生かした『いじめ』未然防止の取り組み～H25学校支援実践講座事業」をテーマに発表しました。

東葛飾地区からは野田市社会教育指導員加瀬奈々子氏・近藤千恵子氏が「野田市の家庭教育学級」をテーマに発表。印旛地区からは四街道市社会教育委員副委員長窪ケイ子氏が「～家庭文庫開設！～地域で活動する女性社会教育委員」をテーマに発表されました。

事例発表の後に、講師に茨城大学生涯学習教育研究センター准教授長谷川幸助氏による「無縁社会に立ち向かう」と題した記念講演が行われ、記念講演終了後、大会決議文が参加者全員の賛成のもと採択し、閉会となりました。

以上で第48回千葉県社会教育振興大会について報告を終わり

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>ます。</p> <p>三富委員からの報告は及びました。 委員の皆さんから、ご質問等ございますか。 ご質問等ないようですので、次の報告（５）平成２６年成人式について、大野委員から報告願います</p>
<p>大野委員</p>	<p>平成２６年成人式は、１月１２日日曜日午後２時より富津公民館において開催されました。</p> <p>該当者は平成５年４月２日から平成６年４月１日までに生まれた市内居住者及び市外転出者５０４名で出席者３８９名、出席率は７７．２％でありました。</p> <p>式典は、例年とおおり「新成人の司会進行」で始まり、「成人としての意見発表」を富津、大貫、佐貫、天羽、峰上地区の各代表１名の合計５名が成人としての意見発表を行い、その後、「新成人に贈る言葉」を大貫中学校の生徒会長が行い、午後３時に終了いたしました。</p> <p>社会教育委員の皆さまにも参加をいただき、お祝いしていただき誠にありがとうございました。</p> <p>以上で、平成２６年成人式についての報告を終わります。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>大野委員からの報告は終わりました。 委員の皆さんから何か感じたことはないでしょうか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>大変落ち着いた雰囲気によかったと思います。 タイムカプセルにも新成人の皆さんが喜んでいる姿がみられてよかったです。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>タイムカプセルについて、今までは参加の案内と一緒に郵送ということで送付していましたが、今年から成人式当日に交付することにしたと聞いています。早速、新成人の皆さんが、過去の自分から２０歳になった自分へのお手紙に喜んでくれたので成人式の運営に関わった側としても嬉しく思います。益々、このタイプカプセルの</p>

	<p>「手紙」が活用されていけばよいと思います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>なごやかな雰囲気の式典であり各地区を代表して発表された新成人の皆さんの主張もしっかりしていてよかったと思います。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>今回の成人式は、近年にない落ち着いた雰囲気の成人式であったと思います。</p>
	<p>他に御意見等はないようですので、次の報告（6）第14回富津市生涯学習推進大会の開催について、事務局から報告いたします。</p>
<p>(事務局) 平野主幹</p>	<p>第14回富津市生涯学習推進大会は、2月2日、日曜日午後2時から富津公民館において開催され、オープニングアトラクションでは、中央公民館サークルの弥生の会、富津公民館サークルのロゼラニフラサークル、市民会館サークルのシェイプアップボクサーの3組により日頃の成果を発表していただきました。</p>
	<p>式典終了後、中部大学総合工学研究所 教授 武田邦彦氏 を講師にお招きし、「うまくいかないことが楽しい」と題した講演を行いました。参加者は関係者を含め541名でした。</p>
	<p>参加者の方からの当日のアンケートについては次回の生涯学習推進協議会の際に報告いたします。</p>
	<p>委員皆様のご参加をいただき感謝を申し上げます報告といたします。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>事務局からの報告は終わりました。 委員の皆さんから、ご質問等はございますか。</p>
	<p>ないようですので、会議次第 4 報告を終わります。 ここで暫時休憩といたします。</p>
	<p style="text-align: center;">- ----- < 休 憩 > -----</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>休憩前に引き続き会議を始めます。 報告（7）社会教育委員構成団体の活動についてに移ります。</p>

<p>大河原委員</p>	<p>委員の皆様には、社会教育委員として様々な活動に参加を頂きありがとうございます。</p> <p>昨年、委員の改選によりまして、各種団体から委員の選出がされたところでもあります。</p> <p>委員の皆様が日頃、どのような形で社会教育に関わっているかなどを公表していただき委員相互の情報を共有し、今後委員として活動していくうえでの参考にしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、初めに、富津市子ども会育成連絡協議会代表 大河原委員からお願いします。</p> <p>○富津市子ども会育成連絡協議会代表</p> <p>富津市子ども会育成連絡協議会として運営に関わっている理事は20人おります。</p> <p>また、いわゆる市子連に加入している子ども会は65団体、会員数は子どもの父母も含めると1,992名という状況であります。</p> <p>市子連全体としての活動としましては、年1回の総会、理事会を年に10回程度、市としてのジュニアリーダー研修を年に1回、君津地方支部としての研修を年2回行なっております。</p> <p>各支部単位での活動としましては、サマーキャンプやかるた大会などを行なっております。</p> <p>現状と課題につきましては、市子連加入の子ども会は65団体と団体数自体はほぼ横ばいの状態を維持しているものの、やはり、少子化に伴う子どもの会員数の減少が挙げられます。</p> <p>また、子ども会として地域での活動はしていても、市子連に加入しない子ども会が地区によっては増えてきている現状です。理由としては、市子連の役員が回ってくると、役員の事務を負担に感じるためか市子連から離れてしまう場合があることが挙げられます。現状として、市子連の役員等、子ども会の運営に関わる全ての事務を（行政からのサポートなしに）自分たちで賄っているというのは君津4市の中では富津市だけという状況です。それに加えて、子育て世代の父母が理事として子ども会の運営に携わっていますが、母親</p>
--------------	--

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>も仕事に出るといふケースが増えてきており、なかなか、子ども会の役員としての働きに時間を割くことが難しなってきたという状況であります。</p> <p>行政サイドと子ども会の運営について話し合う機会が欲しい、と思っていたところでしたのでこのような形で発表させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>午前中の君津地方社会教育委員連絡協議会の会議でも話題になっていましたが、近隣市も、単位子ども会が市子連から退会することが課題となっているとのことでした。</p> <p>富津市と同様に役員が回ってくると市子連から離れてしまうということでしたので、子どもではなく、親の都合で市子連を脱会してしまうということが言えます。</p> <p>親の考え方が変わってきているのかもしれませんが、今一度、子ども会の運営について考えていく必要があると思います。</p> <p>今の子ども会の報告ですが何か質問等はあるでしょうか。</p> <p>ないようですので、富津市青少年相談員連絡協議会の森田委員からの報告をお願いいたします。</p>
<p>森田委員</p>	<p>○富津市青少年相談員連絡協議会代表</p> <p>青少年相談員連絡協議会は65名で活動しております。</p> <p>内容としましては、年1回の総会、年7回の定例会議のほかに研修会を1回開催しました。</p> <p>青少年相談員としての実際の活動としては、富津市文化祭において、なんでもヤリーナ20分への出演や模擬店の出店などを行ないました。第42回富津市あすをきづく青少年のつどい大会については少年の日・地域のつどい君津大会と共催という形で開催をし、君津4市の子ども達とともに鋸山チャレンジウォーキングを行ないました。</p> <p>また、スポーツフェスタでの競技補助という形でのイベントへの協力、地区毎には、青少年健全育成パトロールや子ども大会などを行ないました。</p>

<p>(議長) 小泉委員長</p> <p>森田委員</p> <p>(議長) 小泉委員長</p> <p>大河原委員</p> <p>三浦委員</p>	<p>現状としましては、青少年相談員のほとんどが仕事をしているため行事や会議等に人が集まりにくいということがありました。このことについては、何とか、お互いにフォローをする体制を構築いたしまして富津市青少年相談員連絡協議会として活動しております。</p> <p>また、課題として、活動や事業を展開するに当っては、子ども達の参加者を募集するところですが、学校側といかに連携を図り協力を得られるかが課題であると把握しています。活動をとおして思う近年の子ども達ですが、「人なつっこい子」が減り青少年相談員が警戒されている傾向がありますので子ども達に恐怖心を与えないように接しております。</p> <p>また、先ほど、「親の考えが変わってきている」とありましたが、子どもは家庭で学んだことがその子の人格面に反映されることが多分にあると思います。今後は、子ども達だけではなくて、その親も巻き込んで活動していきたいと思います。</p> <p>青少年相談員の活動でジュニアリーダーに協力してもらおうということはあるのでしょうか。</p> <p>2年前まで富津地区としてはドッジボール大会で協力してもらっていましたが、それ以降は特に要請していない現状です。</p> <p>子ども会のジュニアリーダーとしての活動の現状はどのようになっていますか。</p> <p>ジュニアリーダーがなかなか動けない現状では有りますが、青少年相談員の主催事業には協力してもらっております。</p> <p>○富津市 PTA 連絡協議会代表</p> <p>平成25年度における富津市の PTA 会員数は市内17校全校で2,820名でありました。富津市 PTA 連絡協議会としての活動は、5月に最初の常任委員会を行なうなど年3回の常任委員会を行ないました。</p>
--	---

その後は、5月に広報研修会、6月には前年度にPTA活動に尽力していただいた人への表彰式、9月には実践記録「我が家の家庭教育作文コンクール」と「健康育成標語コンクール」について市内のPTA会員に募集を行ないました。富津市PTA連絡協議会として応募のあった作品の審査を行ない、顕著な作品については千葉県PTA連絡協議会の方へと提出させていただきました。

健全育成標語コンクールについては飯野小PTAが「ありがとう笑顔とセットで 倍返し」という標語が千葉県で2位という結果でした。家庭教育作文コンクールにおいては青堀小PTAが「感性を育てるために」という題名の作文がこちらも千葉県で2位という結果となりました。

また、お母様方がPTA活動の主力であるところ、8月に市P連でバレーボール大会を行ない、練習をとおして母親同士の連携を図りました。

その他の行事としては、11月には研修視察旅行、3月に広報審査会を行ないました。現状と課題について大きな案件は特にありません。

大野委員

○富津市連合婦人会代表

富津市連合婦人は飯野・青堀・大貫・吉野・湊・竹岡の婦人会から構成されており、会員数は233名であります。

会議の関係としては、5月に年に1回の総会と役員会を月1回以上開いております。

また、活動内容としましては、5月には文化研修、6月に健康教室、7月に文化教室主催の盆踊り講習会に参加をし、8月・9月と料理教室等の活動と盆踊りの練習に励み、10月のスポーツフェスタで練習の成果について発表させていただきました。翌月11月には日帰り研修を行ない、1月には新年の顔合わせ会と「新春を寿ぐ」を主旨とし会員の発表会を行ないました。

現状と課題については、19名の役員から構成されており、先ほど挙げた地区以外に富津・佐貫・金谷・峰上地区は地区としての会員が居ないために会員増強に力を入れたいと思います。次に、役員の成り手が少ないということが挙げられます。このことについて、

<p>宮内委員</p>	<p>地区としての会員が居ない地区から越境という形での会員は居るものの、会員として単に行事に参加するにとどまらず、役員として各自の地区で中心となって働きが出来る人が必要である状況です。</p> <p>○富津市文化協会代表</p> <p>当協会は分野別に団体がある関係で、団体数は77団体あり、会員数は589名となっています。</p> <p>富津市文化協会は、市民生活の中にこそ文化の向上があるとの観点に立って事業計画を策定し、その目的である会員一人一人の向上と文化都市建設に寄与することを目指し活動を推進しております。</p> <p>活動としましては、定時総会を年に1回のほかは、常任理事会を年に4回と理事会を6回行ない実施予定の事業について精査しております。</p> <p>主な事業としては、第32回富津市文化協会芸術祭を6月1日～6月22日の間に行ない、夏には、趣味教養講座の合同開講式と富津公園コンサートを行ないました。11月には会員研修として埼玉県川越市立博物館等を見学し歴史や文化について学びました。</p> <p>また、君津地方文化協会連絡協議会事業へ参加しておりますが、君津4市の文化協会と川崎市文化協会とで交流事業を行なっております。毎年相互に相手を訪問していたところではありますが、ここ数年間は、川崎市文化協会の会員の高齢化が著しいということで、こちらの方を訪問するのが難しい状況であり、私たち君津4市文化協会の会員が川崎市を訪問する状況が続いております。</p> <p>現状と課題につきましては、ここ数年ほど、会員の減少、高齢化、事業のマンネリ化等に苦慮しておりました。これらの課題解決のために活性化対策委員会を設置し活性化対策に取り組んできました。</p> <p>会員の減少については会員募集の働きかけをするなどで一応の歯止めはかかったものの、高齢化は着実に進んでいる現状です。今後は、若年層への働きかけや活動の活性化をさらに進め、より良い魅力ある協会づくりに取り組んでいこうと思います。</p>
-------------	---

<p>関谷委員</p>	<p>○富津市区長会代表</p> <p>会員数は、富津地区18名、大佐和地区41名、天羽地区49名の合計108人です。活動としては、総会を年に1回、(天羽)地区代表者会議を年に5回行ないました。地区社会福祉協議会主催の福祉活動への協力、各学校区における主催行事への参加、各学校区の学校評議員として学校運営にも参画しております。区長会全体としましては、ふれあいスポーツフェスタに参加いたしました。</p> <p>視察研修旅行においては合併することを選択しなかった町で有名な福島県矢祭町を訪問しました。このことについて、簡単に報告させていただきます。</p> <p>福島県矢祭町は市町村合併をしない矢祭町宣言で全国的に有名な自治体であります。議員報酬を月額制から日当制へと変更したほか、町役場職員の大幅な削減を進める一方で、住民に対しては提供する行政サービスの質を向上させたという行政改革の事例について勉強させていただきました。</p> <p>住民要望の高かった図書館の建設について、全国から本の寄贈を募り、本の仕分けや図書館用に古い建物を改築する等マンパワーを要する作業についてはボランティアの方の手を借りるなどをし「矢祭もったいない図書館」を開館いたしました。</p> <p>また、町役場職員の自宅を「移動役場」として位置付け職員の自宅でも各種届出や収納業務を行い、役場窓口の業務においては職員の変則勤務を導入して窓口時間の延長をし開庁時間を延ばすなど斬新な試みを行なっております。</p> <p>報告としては以上となりますが、今後とも、住民と行政とのパイプ役として様々な活動をしていきたいと思っております。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>各団体の発表は終わりました。各団体の発表について何か質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>ないようですので、報告(7)社会教育委員構成団体の活動についてを終わりにします。</p> <p>次にその他ですが委員の皆様何かございますか。</p>

杉田委員	<p>少子化に伴い、自分の地域や1校だけでは1つのチームとして活動するのが難しくなっています。そこで、少子化ということで、学校の統廃合について話を伺いたと思います。</p>
(事務局) 藤江課長	<p>学校の統廃合については全て富津市小・中学校再配置構想（案）に基づいて進められているということしかお話しすることができない状況であります。</p>
杉田委員	<p>富津市としては出生人数等のデータを把握していることと思います。例えば、何年後にはある特定の年齢の子どもの人数が何人くらいになるといった予測も可能であると思います。</p> <p>学校の統廃合は多くの人に関心を持っている分野ですので、進捗状況等、情報をオープンにし広く周知を図って欲しいと思います。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>他にないようですので、以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様のご協力を感謝いたします。</p>
(事務局) 藤江課長	<p>(平成25年度第2回富津市社会教育委員会の閉会を宣言)</p>